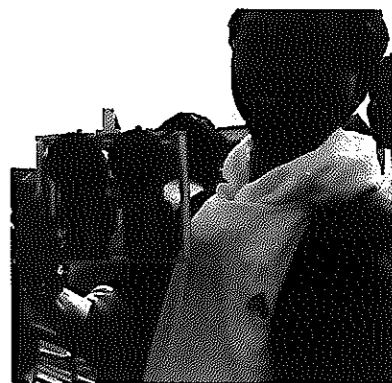


「白根大風合戦」新立体映像制作記



白根大風合戦の様子を取めた新3D立体映像が完成し、現在しろね大風と歴史の館で上映されています。完成までにおよそ一年五カ月。制作に携わった検討委員会からの報告をご紹介します。

まえがき

しろね大風と歴史の館では、いつでも白根の大風合戦を一〇インチの大型スクリーンで、しかも立体映像で楽しむことができます。これまで上映されていた「白根大風合戦」は、平成一二年に撮影し完成されたものです。その後、会館の完成により、平成六年夏のオープンから上映されてきました。

しかし、既に制作してから九年を経過し現況に合わなくなってきたことと、もう少し上映時間を短くしたいとの意見があり、昨年より第二段の制作作業を始めていました。大まかな台本が検討審議され、天候に恵まれた今年の大風合戦を存分に撮

影。編集・字幕・ナレーション入れの作業も終わり、今月新しい内容にバトンタッチされる運びとなりました。

企画から撮影・編集まで

昨年の五月に3D立体映像ソフト企画審査委員が市から委託され、企画競争入札四社を審議し、業者を決めました。この制作会社は、他社と比べ演出だけでなく撮影から編集まで自社で一貫した機械設備を持っている強みがありました。

本撮影は翌年の十一月ですが、風に恵まれる保証は全くありませんので、早速、六月の風合戦に下見も兼ねて撮影してもらいました。

七月、新たに3D立体映像制作検討委員会が発足しました。

八月、一回目の会合で制作会社から二種類のシナリオの説明があり、一つは、今までのものに近い風合戦をそのまま紹介する従来型、もう一つは、風合戦を川中島の合戦になぞらえた戦記ものでした。プロデューサーの思い入れもあり、川中島案に決めましたが、更にシナリオの再検討をお願いしました。

十一月、修正されたシナリオで制作会社と意見を交わし、結果として、川中島合戦でなく一般的な戦国の合戦になぞらえ、タイトルも「三百年の大いさか」になりました。加えて、制作会社から、立体感を強調するためCG（コンピュータ・グラフィックス）シーンを入れる説

明があり、大いに期待をしました。二月、中ノ口川の雪のシーンを撮影。また、竹割り・麻割り・元綱より、紙張り、本格的な撮影を開始しました。五月から六月は、延べ七日間、風作りから合戦までを撮影。天候に恵まれ、良い合戦もあり順調に撮影を終了しました。

約一カ月後の七月、仮編集映像が出来上がり試写。立体メガネで確認し細部にわたり再検討しました。以後、八月までに直された映像やナレーションの検討を行い、納得のいかない所の再修正を依頼。数回に渡るやりとりがありました。

八月十八日、東京のスタジオで立体映像の本編集と、九月一日、ナレーションを含めた立体音声の本編集に、二回立ち会いました。

九月二十九日、しろね大風と歴史の館で試写会を開催し、市長ほか関係者・制作者と実際のスクリーンで最終確認をしました（実は、関西の観光団体が訪れていて、ちょうど機械の準備もできていたので事前に上映し、そつと反応を見ました。嬉しいことに、途中でどよめきと笑いがあり、最後に拍手がありました）。

今回の作品の特徴

①撮影カメラの小型化により機動力が増し、人混みの中まで入って迫力あるシーンが撮れたこと。②コンピュータグラフィックスにより立体作画したものを、現実では不可能な視点で自由に移動し立体効果を大

いに生かせること。また、平面的な地図や絵も立体的に加工できたこと。③立体音声を更にサラウンド方式に加工し臨場感の充実を図ったことなどです。また、雪のシーンを取り入れたら、作品のイメージのふくらみを持たせる工夫もあります。十分五十秒の作品です。

あとがき

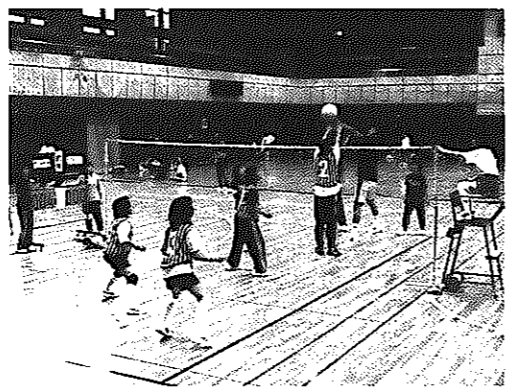
撮影現場では観客も含め皆さんに温かいご協力をいただきました。多くの人からは、風にかける白根人の情熱のすごさに驚きと尊敬の手紙や言葉ももらいます。いつまでも、日本はもとより世界の人にも認められる白根の風、風魂であってほしいと思います。この新しい立体映像が、その架け橋の一つになればと願っています。

(遠藤裕巳・記)



まちの話題

スポーツの秋を満喫



だれでも気軽に楽しめるニュースポーツで、秋の一日を楽しんでもらおうと、十月十七日、カルチャーセンターで、99白根ニュースポーツ大会が開かれました。

大会は、四人制ソフトバレーボールの部とターゲットバードゴルフ・グラウンドゴルフの部が行われ、市内外から約百二十人が参加しました。

ある参加者は「友達を誘って参加しました。みんなで汗をかいて、みんな楽しんで、日ごろの運動不足とストレスが解消できました」と話してくれました。

99白根ニュースポーツ大会

17チームが大熱戦



十月十一日、カルチャーセンターで白根市スポーツ少年団合同の運動会が行われました。

参加者はこれまでで最高の十七団体およそ五百人。綱引き、大玉送りなど六つの種目が得点制で競われ、会場には元気いっぱいの子供たちの声援が響きわたっていました。

運動会の結果は次のとおりです。

一位 大通ミニバスケットボールス
ポーツ少年団 二位 小林女子ミニ
バスケットボールス
ポーツ少年団
三位 大鷲野球ス
ポーツ少年団

第21回白根市スポーツ少年団 交流運動会

小さな博士の科学作品展



九月二十五・二十六日の二日間、白根地区理科教育センター主催による「児童・生徒科学作品展」が、カルチャーセンターで行われました。

展示されたのは、白根市と小須戸町の小・中学生が夏休み中に取り組んだもの。昆虫の標本や押し花、模型などの科学作品や、研究成果を発表できる形にまとめた資料など、約百作品です。

作品を見ようと訪れた人たちはその出来栄に驚き、「すごいね」「おもしろい」などと話しながら、興味深そうに見入っていました。

カいっぱい笑顔いっぱい



九月二十六日、カルチャーセンターで、第三十回の記念大会を迎えた「白根市老人クラブ連合会大運動会」が開催されました。参加した選手は市内の老人クラブに所属する男女約四百人。紅組と白組に分かれて得点を競いました。

額に鉢巻きをした選手たちは「ゲートボールリレー」や「孫への土産競争」など、趣向を凝らした競技に真剣に挑戦。控え席の選手も、一生懸命に仲間を応援しました。

会場は、年齢を忘れて汗をかく、選手たちの笑顔でいっぱいでした。

第30回記念白根市老人 クラブ連合会大運動会